

11/2
(水)

3年ぶりに演芸発表会を開催 第17回松浦市老人クラブ大会



松浦市老人クラブ連合会（永淵勝幸会長）主催の同大会が文化会館で行われました。

開会式の中では、老人クラブ会員の中で米寿（88歳）を迎える54人と、昨年度より会員数が3人以上増加したクラブ5団体に表彰状が送られました。

今回は3年ぶりに演芸発表会が行われ、各クラブ会員が詩吟、カラオケ、舞踊などを披露。久しぶりの発表で会場は大きく盛り上がり、拍手や手拍子が絶えない大会となりました。

10/28
(金)

地域への想いがこもった募金を寄附 明治安田生命保険相互会社長崎支社（杉浦健支社長）



▲目録を手渡す同社渡辺克史平戸営業所所長（写真左から3番目）

同社は、従業員からの募金と会社の拠出金を合わせた「私の地元応援募金」を市に寄附しました。

この寄附は地域住民の健康づくりや暮らしの充実を目指し、同社と自治体などが協力して行う活動を補助する目的で寄附されています。

市では、寄附金を活用し、市内の集いの場で高齢者と子どもたちとの交流活動の場を作る初めての試みの実施や各団体の活動内容を市内各地の集いの場へ広げるための情報ツールの作成を予定しています。

11/6
(日)

海のふるさと館周辺の海岸を清掃 松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）



当日は会員32人の他、部活動後の志佐中学校陸上部16人も駆けつけ、午後から活動が行われました。

海岸に流れ着き、岩に絡まった縄や、発泡スチロール、ペットボトルなどを集め、1時間あまりで海岸はきれいに。軽トラック4台分ものゴミが集まりました。

榎元会長は「今年は活動に共感してくれた中学生の皆さんが参加してくれた。若い世代との交流も生まれてとても嬉しい。交流の輪が広がってくれば」と思いを語りました。

11/6
(日)

優良従業員を表彰

第35回勤労者の祭典



松浦市商工業労政推進協議会主催の勤労者の祭典が文化会館で開催されました。

第1部の優良従業員表彰式では、勤続年数5年以上から20年以上の9人が表彰を受けました。

第2部の職場対抗ソフトバレーボール大会では、市内事業所から6チームが参加し、事業所同士の親睦を深めながら汗をながしました。

上位結果は次のとおりです。

- 【優勝】 住商エアバッグ・システムズ㈱チーム
- 【準優勝】 九州電力㈱松浦発電所チーム
- 【第3位】 JPGS ㈱松浦火力運営事業所チーム

11/10
(木)

職場の防災意識を高める

第6回消火器操作大会（協賛：松浦市危険物安全協会）



同大会が消防本部 訓練場で開催されました。

この日は市内事業所から 17 チームが参加し、2 人 1 組で火災を発見した後に消防署への通報、避難誘導、火災の煙の中（テント内）を通過し、訓練用消火器を使って標的に水が溜まるまでのタイムを競いました。大会優勝チームは次のとおりです。

【男子の部】

優勝 九州液化瓦斯福島基地株式会社

【女子の部】

優勝 福島サポート株式会社

11/9
(水)

火の用心を各地で呼びかけ

秋の火災予防運動（防火パレード）



秋の火災予防運動（11 月 9 日～ 15 日）に伴い、市内各所において消防団と消防本部による防火パレードが行われました。

消防団員らが消防車や広報車などに乗り、「火の用心」と書かれた風船などを配布しながら火災予防を呼びかけました。

今年の市内での火災発生件数は 11 件。

これから寒い季節は空気が乾燥し、さらに家庭でストーブなどの火を使う機会が多くなります。火の取扱いには十分注意しましょう。

11/11
(金)

子どもたちが奏でるハーモニー

令和 4 年度 松浦市小・中学校音楽会



同音楽会が文化会館ふれあいホールで開催されました。

この会は音楽に関する関心・意欲を高め、音楽を愛する豊かな心を育むことを目的に 3 年ぶりに開催されました。

この日は、市内小・中学校 16 校から約 470 人が参加し、合唱や合奏、吹奏楽演奏などを披露しました。訪れた観客は、児童・生徒たちが一生懸命に発表する歌や楽器の音色に聴き入っていました。

11/11
(金)

夕暮れ時の注意して

早めのライト点灯街頭キャンペーン



日没時間が早くなる秋以降の夕暮れ時の交通事故を防ごうと、松浦警察署や松浦地区交通安全協会などの会員ら 約 16 人が早めのライト点灯や前照灯のこまめな切り替えを呼びかけるキャンペーンを実施しました。

また、キャンペーンがより市民に浸透するようまちの治安（ちあん）を守る警察署と地元菓子店の「お菓子のちあん」のコラボを実施。ライトをモチーフにした「きらりん☆マドレーヌ」が販売されました。